



13	受診率向上に向けた普及啓発の実施医療圏数	全二次医療圏	全二次医療圏	現状を維持	疾病・感染症対策課調	S	全二次医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	A	
14	市町村のチェックリストの実施率	平均 71.0% (2022)	平均 71%以上	現状より改善を目指す	国立がん研究センター「市町村用チェックリスト」実施率(住民検診)	P	71.0%	%	%	%	%	%	%	B	市町村と連携して数値の向上に努める
15	(主な検診実施機関の)チェックリストの実施率	平均 94.8% (2020)	平均 94.8%以上	現状より改善を目指す	疾病・感染症対策課調	P	94.8%	%	%	%	%	%	%	B	検診機関と連携して数値の向上に努める
16	精密検査未受診者に対して受診勧奨を行っている市町村の割合	平均76.5% (全国平均80.4%) (2021)	平均 80.4%以上	全国平均以上を目指す	国立がん研究センター「市町村用チェックリスト」の実用に関する実態調査	P	78.0%	78.5%	78.9%	79.4%	79.9%	80.4%	%	A	
指標		現状(2023)	目標(2029)	目標数値の考え方	備考(出典等)	区分	2024 目安値 実績値	2025 目安値 実績値	2026 目安値 実績値	2027 目安値 実績値	2028 目安値 実績値	2029 目安値 実績値	進捗区分	特記事項 (進捗区分が「A」の場合は記載していません)	
17	精密検査方法及び精密検査結果を把握した市町村割合(個別検診)	胃がん(エックス線)	70.0% (全国 88.4%) (2021)	88.4%	全国平均以上を目指す	国立がん研究センター「市町村用チェックリスト」の実用に関する実態調査	P	76.9%	79.2%	81.5%	83.8%	86.1%	88.4%	B	市町村と連携して数値の向上に努める
		胃がん(内視鏡)	71.4% (全国 92.2%) (2021)	92.2%			80.0%	%	%	%	%	%			
		肺がん	61.5% (全国 89.1%) (2021)	89.1%			81.8%	85.3%	88.8%	92.3%	95.7%	99.2%			
		大腸がん	76.9% (全国 90.6%) (2021)	90.6%			81.3%	%	%	%	%	%			
		子宮頸がん	80.3% (全国 91.6%) (2021)	91.6%			71.9%	75.3%	78.8%	82.2%	86.7%	89.1%			
		乳がん	78.6% (全国 90.5%) (2021)	90.5%			50.0%	%	%	%	%	%			
								82.0%	83.8%	85.5%	87.2%	88.9%	90.6%		
18	がんの診断・治療全体の総合評価(平均点または評価が高い割合)	国の調査結果公表後		(患者体験調査)	O	%	%	%	%	%	%	%	-	2025年度中に目標設定予定	
19	がん種別5年生存率	胃	69.8% (全国 70.2%)	70.2%	全国平均以下は全国平均に、全国平均以上は現状以上を目標とする。	国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター「院内がん登録2014-2015年5年生存率集計報告書」(現状は2014-2015年診断例)	O	69.9%	69.9%	70.0%	70.1%	70.1%	70.2%	-	2024の実績値把握不可。 (公表時期未定)
		肺(小細胞)	9.1% (全国 11.5%)	11.5%			-	%	%	%	%	%			
		肺(非小細胞)	51.2% (全国 47.5%)	51.2%以上			9.5%	9.9%	10.3%	10.7%	11.1%	11.5%			
		大腸	68.4% (全国 70.9%)	70.9%			51.2%	%	%	%	%	%			
		乳房	92.9% (全国 91.6%)	92.9%以上			-	%	%	%	%	%			
		肝臓(肝細胞)	38.8% (全国 45.1%)	45.1%			68.8%	69.2%	69.6%	70.1%	70.5%	70.9%			
		肝臓(肝内胆管)	23.8% (全国 21.1%)	23.8%以上			-	%	%	%	%	%			
20	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	国の調査結果公表後		(患者体験調査)	O	%	%	%	%	%	%	%	-	2025年度中に目標設定予定	
21	精神的な苦痛を抱えるがん患者の割合	国の調査結果公表後		(患者体験調査)	O	%	%	%	%	%	%	%	-	2025年度中に目標設定予定	
22	がん診療連携拠点病院等がある医療圏数	10医療圏	10医療圏	全ての二次医療圏に拠点病院等の整備を維持。	疾病・感染症対策課調	S	10医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	A		
23	がん診療連携拠点病院等への機能評価の実施数	-	12病院	全ての拠点病院等で計画期間内に1回の実施を目指す。	疾病・感染症対策課調	P	2病院	4病院	6病院	8病院	10病院	12病院	A		
24	チーム医療を受けられる病院が整備されている医療圏数	10医療圏	10医療圏	全ての二次医療圏で受けられる体制を維持。	疾病・感染症対策課調	S	10医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	A		
25	がん診療連携拠点病院等による各種研修会、カンファレンスなどを通じた地域連携・支援が行われている医療圏数	10医療圏	10医療圏	全ての二次医療圏での実施体制を維持。	疾病・感染症対策課調	S	10医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	医療圏	A		
指標		現状(2023)	目標(2029)	目標数値の考え方	備考(出典等)	区分	2024 目安値 実績値	2025 目安値 実績値	2026 目安値 実績値	2027 目安値 実績値	2028 目安値 実績値	2029 目安値 実績値	進捗区分	特記事項 (進捗区分が「A」の場合は記載していません)	
26	リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されているがん診療連携拠点病院の割合	100%	100%	現状を維持	疾病・疾病対策課調	S	100.0%	%	%	%	%	%	B		
						91.7%	%	%	%	%	%	%			
27	専門的なケア外来を設置しているがん診療連携拠点病院等の割合	リンパ浮腫	75%	75%以上	現状以上を目指す。	疾病・感染症対策課調	S	75.0%	%	%	%	%	%	A	
		ストーマ	91.7%	91.7%以上				83.3%	%	%	%	%	%		
28	緩和ケア研修会の受講者数	210名	200名以上	前計画期間の実績を踏まえ年間200名以上の受講を目指す。	疾病・感染症対策課調	S	200名	名	名	名	名	名	A		
							236名	名	名	名	名	名			
29	がん相談支援センターにおける「妊産婦・生殖機能」に関する相談件数	25件 (2022)	25件以上	現状以上の増加を目指す。	疾病・感染症対策課調	P	25件	件	件	件	件	件	A		
							42件	件	件	件	件	件			
30	全国がん登録の精度指標(MI比・DCO)	MI比 0.38 DCO 1.9% (2019)	MI比 0.4~0.45 程度 DCO 5%以下	現状と国際的ながん登録の水準をふまえた設定	長野県がん登録事業報告書	S	MI比 0.4~0.45 DCO 5%	MI比 DCO %	MI比 DCO %	MI比 DCO %	MI比 DCO %	MI比 DCO %	-	最新は2021年。 2022年以降の実績値把握不可 (次回、2022年の全国がん登録罹患数・率報告は2026年公表予定)	
							MI比 DCO %	MI比 DCO %	MI比 DCO %	MI比 DCO %	MI比 DCO %				
<b>IV 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上ができています</b>															
指標		現状(2023)	目標(2029)	目標数値の考え方	備考(出典等)	区分	2024 目安値 実績値	2025 目安値 実績値	2026 目安値 実績値	2027 目安値 実績値	2028 目安値 実績値	2029 目安値 実績値	進捗区分	特記事項 (進捗区分が「A」の場合は記載していません)	
31	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	国の調査結果公表後		(患者体験調査)	O	%	%	%	%	%	%	%	-	2025年度中に目標設定予定	
						%	%	%	%	%	%				
32	治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	国の調査結果公表後		(患者体験調査)	O	%	%	%	%	%	%	%	-	2025年度中に目標設定予定	
						%	%	%	%	%	%				
33	がん教育充実のための外部講師年間の派遣校数	17校	17校以上	現状以上の増加を目指す。	保健厚生課調	P	17校	校	校	校	校	校	C	関係課所と連携して数値の向上に努める	
							11校	校	校	校	校				
34	がん相談支援センターの新規相談件数	5,847件 (2022)	5,847件以上	現状以上の増加を目指す。	疾病・感染症対策課調	P	5,847件	件	件	件	件	件	A		
							5,960件	件	件	件	件				
35	相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数(専従又は専任)	31人	24人以上	各がん診療連携拠点病院等に2名以上の体制を維持。	疾病・感染症対策課調	S	24人	24人	24人	24人	24人	24人	A		
							33人	人	人	人	人				
36	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	193か所 (2022)	193か所以上	現状以上の増加を目指す。	厚生労働省「診療報酬施設基準」	S	193か所	か所	か所	か所	か所	か所	A		
							202か所	か所	か所	か所	か所				
37	がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	1,177件 (2022)	1,177件以上	現状以上の増加を目指す。	疾病・感染症対策課調	P	1,177件	件	件	件	件	件	A		
							1,479件	件	件	件	件				
38	がん相談支援センターにおけるアピラランスに関する相談件数	644件 (2022)	644件以上	現状以上の増加を目指す。	疾病・感染症対策課調	P	644件	件	件	件	件	件	A		
							925件	件	件	件	件				